

## 事業活動計画概要書

委員会名 ロータリー財団補助金委員会

委員長名 三宅 譲

### 1. 事業計画の内容（実施時期補助金もご記入下さい。）

- (1) 補助金配分・V T T 委員会  
平和フェロー・奨学金委員会補助金管理委員会  
資金推進委員会  
以上、4 委員会を統括する。

- (2) ロータリー財団の地区活動全般をサポートする。

### 2. 委員会開催予定（回数 12 回 月別にご記入下さい。）

他の財団関連委員会と同日に原則毎月 1 回開催する。

### 3. 予算（金額に制限がありますので、節約する形で計上して下さい）

通常年度と同等金額

## 地区ロータリー財団委員会 スケジュール（抜粋）

---

地区 R 財団合同委員会（定例日 毎月第 2 火曜日 16 時）

### 2020年

- |           |  |
|-----------|--|
| 9月19日（土）  | 地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー<br>於；アイクロス湘南（予定） |
| 10月24日（土） | 第1回地区補助金説明会                              |
| 10月31日（土） | 財団奨学生選考会                                 |
| 11月2日（月）  | 地区補助金申請受付開始                              |
| 11月15日（日） | 財団奨学生オリエンテーション                           |

### 2021年

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 1月23日（土） | 第2回地区補助金説明会・補助金管理セミナー    |
| 2月       | 地区チーム研修セミナー              |
| 3月       | 地区研修・協議会 リーダー・サブリーダー打合会議 |
| 3月       | PETS                     |
| 3月31日（水） | 地区補助金申請受付終了              |
| 4月       | 地区補助金予備選考会               |
| 4月       | 地区補助金プレゼン選考会             |
| 4月       | 地区研修・協議会                 |

## ポリオ担当チームが新型コロナウイルスへの対応を支援

ポリオ根絶プログラムではこれまで、ポリオウイルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて大規模なインフラを築いてきました。各国のポリオ根絶担当チームは、このインフラを新型コロナウイルス（COVI D-19）への対応に活用することで、感染リスクにさらされやすい人、特にポリオ常在国の人びとを新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しています。パキスタンやナイジェリアといった国では、何十年ものポリオ根絶活動の経験が、政府による 新型コロナウイルス対策の支援に役立てられています。

### パキスタン

パキスタンのポリオ根絶プログラムは、ウイルス感染経路の特定や地域社会への働きかけにおいてほかのどの保健プログラムよりも豊富な経験を有しています。パキスタン政府による新型コロナウイルスへの対応と対策にあたり、ポリオ根絶チームは力強い支援を提供できる立場にあります。

同国では現在、ポリオ根絶チームが特にサーベイランス（監視）と認識向上に力を入れて援助にあたっています。政府と密に協力しながら、チームは新型コロナウイルスの監視にあたる 280 人の保健当局者を 3 週間で研修したほか、ポリオのデータ管理システムと統合させた新たなデータシステムの開発を支援しました。研修を受けた人がほかの人を研修する、という仕組みにより、6260 人以上もの保健従事者が研修を受け、通常のポリオ監視に加えて新型コロナウイルスの監視も行っています。この取り組みは、新型コロナウイルスの感染が続く限り行われます。

政府と WHO 緊急チームの補足戦力となるポリオ根絶チームは、新型コロナウイルスの感染経路の特定や 6 カ所の研究所における検査の改善にも協力し、感染者数の急増や旅行者の経路特定に備えて研修を受けています。イスラマバードにあるポリオ地域研究所でも、高まる需要に応じて新型コロナウイルス検査の技術的サポートが行われています。これまでにない新型の感染症であるため、ポリオ担当スタッフらは、健康リスクに関する正確な情報を広く伝えるとともに、懸念する人びとの声に耳を傾けています。パキスタン政府が以前に設置したポリオの全国ヘルプラインは、現在、新型コロナウイルスに関する情報発信にも活用されています。最初の感染者が報告された後、ポリオチームはこのヘルプラインの活用をすぐに開始。SNS などポリオ予防接種の周知に使われていた手段は、現在、新型コロナウイルスに関する正しい情報の拡散に使われています。また、テレビ CM も 放映されています。今後もチームがさらに多くの人を研修し、ウイルス拡散抑止のメッセージを広げていきます。

## アフガニスタン

現在、ポリオ根絶プログラムで急性弛緩性まひ（AFP）の報告を行っている地域ボランティアたちは、ポリオだけでなく、新型コロナウイルスの感染防止のために手洗いの推進も行っています。同様に、UNICEF（国連児童基金）もそのネットワークを通じて手洗いや衛生に関する情報を拡散しています。

現地のスタッフは、AFPの子どもを確認するために定期的に保健施設を訪問する際、新新型コロナウイルスの感染の疑いがある人を確認し、報告しています。また、ポリオプログラムのスタッフが研修を行い、新型コロナウイルスに関する保健従事者の対応力を高めています。

アフガニスタンのWHOポリオチームは現在、同国政府が主導する幅広い新型コロナウイルス対策との連携を図るための拠点を設けています。また、地域レベルのポリオチームが、公共保健大臣や非政府団体、その他のパートナー団体と密に協力しながら、新型コロナウイルス対策を強化しています。

## ナイジェリア

「現場で政府をサポートするようWHOが一番最初に連絡したのはポリオ担当チームだった」と話すのは、ナイジェリアのWHOポリオチーム責任者、フォイナ・ブラカさんです。新型コロナウイルスの感染例が2件報告されているオグン州とラゴス州では、WHOのポリオプログラムの医療スタッフ50人以上が、長年にわたるポリオウイルスとの闘いで学んだ知識を生かし、感染抑止に全力で取り組んでいます。これらのスタッフは、統合されたサーベイランス、接触の追跡、データ収集と分析にあたっています。米国疾病対策センター（CDC）が支援する「Stop Transmission of Polio（ポリオ感染抑止）プログラム」に携わる公共保健専門家らは、そのスキルを新型コロナウイルスの調査に役立てています。通常はポリオ根絶活動の調整を行っているWHOの現地事務局は、新型コロナウイルス対策の拠点としてもその機能を拡大させています。

また、新型コロナウイルス対応のために電話や車両、運営サポートも提供しています。

新型コロナウイルスの感染者が報告されていない州では、ポリオ担当スタッフが備えを支援しているほか、ポリオ根絶活動のインフラがウイルス監視の強化に役立てられています。ポリオ担当スタッフらは政府関係者と密に協力し、新型コロナウイルス対応の Protokol についての研修を支援し、ウイルスに関する住民への情報提供を行っています。また、感染の危険にある現場の保健従事者を研修する特別な取り組みも行われています。

## ポリオ常在国以外

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の一環である Stop Transmission of Polio (<https://www.cdc.gov/globalhealth/immunization/stop/index.htm>)（ポリオ感染抑止）プログラムで研修を受けた人たちが、世界 13 カ国で新型コロナウイルスの対策と対応を積極的に支援しています。普段はポリオ発生への対応にあたっている WHO のアフリカ地域事務局の緊急対応チームも、アンゴラ、カメルーン、中央アフリカ共和国といった国での対策を援助しています。このほかの事務局のポリオ担当スタッフも、新型コロナウイルスの抑止と対応にあたるスタッフをサポートする準備を進めています。

ポリオ根絶活動において、私たちは伝染病がもたらす悲惨な影響を目にしてきました。この経験を踏まえ、新型コロナウイルスの軽減と拡大抑止のために、これまで培ってきた知識とリソースを投入して各国の保健システムを全力で支援するとともに、引き続き連携してポリオ根絶活動を続けていきます。

新型コロナウイルスに関する最新情報と勧告は WHO (<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>) のウェブサイトをご参照ください。

[polioeradication.org](http://polioeradication.org)(<http://polioeradication.org/news-post/the-first-call/>) に掲載の記事より。

---

ポリオにまつわるストーリーをご紹介します

ストーリーをシェア